

平成29年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月10日実施)	総合評価(3月16日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①社会変化に対応できる力を身につけられる教育課程編成に取り組み、確かな学力向上を図る ②授業改善に組織的に取り組み、考える力を伸ばし、基礎力を活用できる人材を育成する ③「いのち」の尊重に関する教育を充実させるとともに、人権を尊重し、自他の大切さを認められる人材を育成する	①生徒に「考える力」を身につける意義を理解させ、授業改善に組織的に取り組む。	①「考える力」を身につけさせるための組織的な授業研究を行う。 ②組織的授業改善のための授業評価アンケートができたか。	①生徒が主体的に学習する時間が増えたか。 ②組織的授業改善のための授業評価アンケートができたか。	①年間を通じ組織的な授業研究・改善を行った結果、授業評価アンケートでは、主体的に学習していると回答した生徒が7月(第1回)に比べて12月(第2回)では11教科中6教科で5%程度増加した。	①授業評価アンケートの質問項目を検討し、さらに目標達成状況を計るものに改善する必要がある。	・達成状況を測れるように数値化の工夫を進める。 ・教職員間の情報共有を密にする。 ・生徒が考える時間や主体性が増えている。 ・韓国の生徒が来校した時、いろいろな点でコミュニケーション力の高さを感じた。	・授業評価アンケートでは、生徒の成長の変化が見られた。発表まで展開する授業が増え、普段とは違う面を見せる生徒も見られた。 ・生徒の学習に対する意欲や達成感を測る手立てが弱い。	・意欲・達成感などが数値で示せる調査方法を開発する。 ・授業評価では、授業改善の取組を生徒が感じ取り、復習(家庭学習)の時間が増えたことなどがわかるように工夫して活用する。
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	①基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会の一員として行動するための規範意識を高める ②他者を尊重し良好な人間関係が築けるコミュニケーション能力をはぐくむ	①旭高校の求める基本的な生活習慣を理解させ、規範意識を高める。 ②生徒のコミュニケーション能力をはぐくむ。	①社会の一員になる事を意識させ、卒業まで継続的な生活指導を行う。 ②生徒の「嫌だ」という声を拾い上げ対処する。	①学校全体として、一貫した指導体制ができたか。 ②いじめ等に対し、きめ細やかな対応ができたか。	①卒業まで一貫した生活指導を行った結果、遅刻生徒は昨年度比で32%減少した。 ②いじめアンケートにおいては、ほぼ全ての項目で「ある」と回答した数値が昨年度を下回った。	①基本的な生活習慣改善の達成状況が把握しづらい。生徒アンケート等の実施を検討する。 ②年間3回のアンケートを行い、生徒の声にさらに迅速に対応ができるような体制をつくる必要がある。	・いじめ等のトラブルに対し直接声を受け止められるホットライン担当などの体制整備を進める。 ・校外でも気持ちのよい挨拶のできる生徒の育成を進める。 ・自転車通学する生徒のマナーの良さをより高める。 ・都筑祭での「楽しむ」という視点から「見せる」要素を取り入れることも課題としてほしい。	・進路決定後に学びが中断される課題は、学年の積極的な働きかけにより改善が進んだ。 ・悩みを抱えている生徒がいることを把握し、迅速な対応ができた。交通規則が守れず、けがをしたり、させたりしたケースがあった。	・挨拶習慣や基本的な生活習慣が上手く継続できているか、また自己肯定感などを数値で示せる調査方法を開発する。 ・いのちの尊重について継続指導をする。悩みを相談できる様々な体制を整備する。
3 進路指導・支援	①社会変化に対応できる力を身につけるため学び続ける意欲を高めるキャリア教育を展開する ②社会的、職業的自立に向け、生きる力を身につけるキャリア教育を充実させる	①自己理解を深め、将来について考えるキャリア教育を実践する。	①社会情勢や自分のライフプランを考えた進路選択ができるようにする。	①高い目標を設定し、チャレンジする生徒は増えたか。	①指定校推薦の希望数を原則3校までとする指導を行い、安易な選択をしない姿勢ができた。	①外部の進学実現支援制度を導入し、学習への取組の意識改革を指導する。家庭学習の時間確保や学習と部活動との両立についてが課題である。	・地域は、学習サロン、ボランティア等、生徒が進路を考える上で支援を続ける。 ・生徒一人ひとりが自分の将来を思い描くキャリアデザインの情報提供をより厚くする。 ・部活動等を通じて人格形成が育てられている。人権教育の芽が大きく息づいていると感じられた。	・高い目標を持ち、チャレンジする生徒の育成のため、身につけさせたい力をアウトプットする力とし、10年後の自分を見据えたキャリア教育の基本方針を立てた。 ・ねらいの実現に向け、教育活動全般で取り組む計画を立てる必要がある。	・キャリア教育計画とカリキュラム・マネジメントを有機的に関連させ、授業・特別活動を含めた総合的で具体的な計画を立て、生徒にねらいが達成できているか確認させながら進める。 ・生徒自身が自己の学びを振り返り、活動記録を残すことでキャリア形成に役立てる。
4 地域等との協働	①地域との相互交流により、地域力を活用した教育を推進する ②学校運営協議会を充足し、地域とともにある学校をつくる	①コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を組織的に運営する。	①学校運営協議会を機能させ、地域との協働により、教育活動を充実させる。	①学校運営協議会を生かせる体制を構築できたか。	①学校運営協議会スタートの年として校内の運営組織が機能し定着した。さらに部会の開催により、意見交換が活発に行なえ地域連携が進んだ。	①組織的な体制はできた。さらに学校運営協議会での成果を職員全体で共有し、学校全体として関わる取り組みに発展させる。	・運営協議会を通じて、先生方と地域との連携は深まっており、さらに生徒の声を聴く機会をつくる。 ・川井地域ケアプラザを中心とした連携活動は、地域にも関心をもたらしている。 ・変質者の被害にあった場合などは、地域にも連絡し、予防的措置の情報を共有する。	・地域の方に学校を見てもらう機会が増え、具体的な助言で迅速な改善も見られた。運営協議会で、委員と職員とのコミュニケーションが取れた。 ・学校の様子を見られたこと、また連携が広がったことで、新たに気づいた課題がでた。	・学校運営協議会を通して、生徒と職員をより応援する流れを育てる。 ・学校外の意見を知ることで、新たなアイデアを生み、生徒に還元できることを目指す。 ・地域との連絡体制を固め、安心で安全な学校及び地域の活性化を進める。

5	学校管理 学校運営	<p>①教員同士のコミュニケーションを活性化し、活気ある学校を目指すとともに人材育成を図る</p> <p>②不祥事防止に真摯に取り組む、信頼される学校を目指す</p> <p>③情報を迅速に発信し、開かれた学校をつくる</p> <p>④防災意識を高め、安心して快適な教育環境を整備する</p>	<p>①<b>学校行事、研修会を通じ人材育成を図る。</b></p> <p>③<b>適切な情報発信で学校の信頼度を向上させる。</b></p> <p>④<b>地域を知り防災意識を高める。</b></p>	<p>①不祥事防止や旭高校の未来について考える研修会を実施する。</p> <p>③学校ホームページによる迅速な情報発信を行う。</p> <p>④職員及び生徒の防災意識を高めるため行事・事業の改善を図る。</p>	<p>①不祥事ゼロを達成できたか、人材育成は進んだか。</p> <p>③旭高校の魅力が伝わる情報発信ができたか。</p> <p>④防災に対する取り組みの質を高められたか。</p>	<p>①不祥事防止ゼロを目指し、計画的な職員研修で資質を高め、人材の育成を図った。</p> <p>③HP更新手順をフローチャート化しスピーディーに学校の特色の情報発信ができた。</p> <p>④年2回の防災訓練を行った。6月実施の部活動単位の訓練では、昨年より自分の身を守る行動が身についた</p>	<p>①県作成のチェックシートに加えて、職員自身による研修を企画運営する。</p> <p>③スマートフォンに対応する見やすいホームページへの移行を図る。</p> <p>④日常的に避難経路、危険箇所等を意識させるなどして、職員及び生徒の防災意識の向上に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント参加の機会を増やすなど、旭高校の魅力が伝わる発信方法を工夫していく。</li> <li>・旭高校らしい取り組み、進路実績などを見やすい形にまとめ、中学校に継続的に広報する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校で行われている取組の認知度はまだ低い。魅力や特色、さらに未来を視野に入れた指導方針だけでなく、成果を丁寧かつ迅速に伝える必要がある。</li> <li>・生徒の成長を、数値を使い、見える形にして、中学生にうまく伝える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が身につけた力や、満足度、どれだけ伸びたかがわかるように数値化し、成果を発信できるように、調査方法を開発する。</li> <li>・HPの改良を進めるとともに、生徒の協力も得て、中学生に発信していく。</li> </ul>
---	--------------	---	---	---	---	---	--	---	---	---